

議会だより

白山市

2015.5

vol. 40

CONTENTS

意見
交換会

⑨ 中小企業の活力強化と地域活性化に向けて (白山市経済団体連絡協議会)

- ②… わたしたちが議長・副議長です
- ③… 新しくなった議会組織を紹介します
- ④… 市議会3月会議の概要～予算審議のやり方が新しくなりました～
- ⑥… 一般質問
- ⑩… 常任委員会レポート
- ⑪… 特別委員会より
- ⑫… アンケート集計結果

リニューアル
しました



わたしたちが議長・副議長です

議長の就任あいさつ

信頼される議会の確立を

市民の皆さまには、常日ごろより市議会の活動に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、平成27年3月会議におきまして、第11代白山市議会議長に就任いたしました。あらためてその使命の大きさと責任の重さを痛感しております。

さて、地方分権の進展とともに、地方自治体の自己決定・自己責任の範囲が拡大していく中、白山市では、さらなる市民サービスの向上を図るため、行財政改革を最優先課題とし、誰もが住んで良かったと思えるまちづくりを鋭意進めており、市政運営の一翼を担う市議会の果たすべき役割と責任はますます重要になるものと認識しております。

合併10周年を迎え、わが白山市議会においては、市民に開かれた議会を目指して継続的に議会改革に取り組んでいるところであり、議会基本条例に基づく通年議会の導入や議会報告会、意見交換会を鋭意開催しています。

今後も、常に市民の目線に立ちながら民意を的確に反映し、市民の皆さまと共に安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、議員は「住民の代表である」との原点に立ち、議員一人一人が十分に役割を発揮し、信頼される議会の確立に努力してまいりますので、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



西川寿夫 議長

副議長の就任あいさつ

市民目線に立った議会を

このたび、平成27年3月会議において、議員各位のご支持をいただきまして、副議長の要職を担うこととなり、その責任の重大さを痛感している次第であります。

市民の代表である市議会は、市の議決機関であるとともに、市長をはじめ市執行部に対する監視機関としての責務を認識し、その機能を十分に果たさなければなりません。同時に、市民の皆さまと市政をつなぐパイプ役としての役割をしっかりと自覚し、負託に応えていかなければなりません。

白山市議会におきましては、そのような議会の機能を維持しつつ合理化を図るなど、自らの議会改革を行うとともに市民に開かれた議会を目指し、議会報告会の開催などを積極的に行っております。

合併10周年を迎え、さらに市民目線に立った議会を目指し、微力ではありますが、議長を補佐し、議会運営が円滑に進行してまいりますよう、副議長としての職務を遂行する所存であります。よろしくお願いいたします。



小川義昭 副議長

新しくなった議会組織を紹介します

(◎委員長、○副委員長)

総務企画常任委員会



安田竹司 村本一則
宮岸美苗 ○山口俊哉 ◎石地宜一 清水芳文

所管 議会事務局、総務部、企画振興部、市民生活部、会計課、選挙管理委員会、監査委員に属する事項及び他の常任委員会の所管に属しない事項

文教福祉常任委員会



小川義昭 竹田伸弘 北嶋章光
前多喜良 ○吉本史宏 ◎永井徹史 藤田政樹

所管 教育委員会、健康福祉部に属する事項

産業建設常任委員会



岡本克行 吉田郁夫 寺越和洋
西川寿夫 ○安実隆直 ◎宮中郁恵 中西恵造

所管 産業部、観光文化部、建設部、上下水道部、農業委員会に属する事項

予算常任委員会

◎寺越和洋 ○石地宜一
山口俊哉 安実隆直 吉本史宏 永井徹史
小川義昭 安田竹司 北嶋章光 宮中郁恵
村本一則 宮岸美苗 岡本克行 吉田郁夫
竹田伸弘 清水芳文 前多喜良 藤田政樹
中西恵造

決算常任委員会

◎小川義昭 ○石地宜一
山口俊哉 安実隆直 吉本史宏 永井徹史
安田竹司 北嶋章光 宮中郁恵 村本一則
宮岸美苗 岡本克行 寺越和洋 吉田郁夫
竹田伸弘 清水芳文 前多喜良 藤田政樹
中西恵造

議会運営委員会

◎藤田政樹 ○村本一則
北嶋章光 岡本克行 前多喜良

広報広聴委員会

◎寺越和洋 ○宮岸美苗
山口俊哉 安実隆直 吉本史宏 北嶋章光

市議会議員 横山隆也氏辞職

去る3月2日付で、横山隆也氏が市議会議員を辞職されました。



予算審議のやり方が 新しくなりました

平成27年度予算は、**地方創生や人口減少対策**に力を入れ、**子育て支援や定住促進、観光振興、土地区画整理事業、企業誘致**など、**まち・ひと・しごと創生総合戦略**を積極的にすすめていく予算となっています。

平成27年度予算

総 額	830億8209万円
一 般 会 計	499億4600万円
特 別 会 計	220億9869万円
企 業 会 計	110億3740万円

新たに設置した、予算常任委員会において、新年度予算の審査を行いました。

審議の流れ

予算常任委員会
分科会

予算常任委員会全体会
(分科会長報告)

表決

予算審議の主な質問と答弁



議員

東京事務所を設置して3年経過したが、これまでの実績はどうなのか。また、今後の予定はどうなっているか。

企業誘致や市ゆかりの郷土会、東洋大学などの情報交換が主なものとなっている。企業誘致について会社訪問などをしており、実際に市に進出する企業が決まっているような状況がある。平成27年度にもう1年検証し、今後判断していきたい。



市



議員

すでに整備されているデジタル防災行政無線で、松任・鶴来地域で聞こえにくいとの声がある。現地で測定して聞こえるように確保すべきでは。

設置場所については各町内会と相談し決定したが、当時は現物がなく、音声は300mから400m届く前提で了解を得た。平成27年度は、不感地帯の解消について調査することにしており、各町内会のご協力をお願いしたい。



市



議員

障害のある子の保育受け入れについて、保育所によって受け入れが偏っている状況がある。全ての保育所で受け入れる指導をすべきではないか。

障害のある子の受け入れで補助を行っている自治体は金沢市と本市だけである。利用者支援事業を通じて、法人にも積極的に受け入れをしていただくようお願いしていきたい。



市



議員

区画整理事業で住宅が増えている中、再生可能エネルギーの設備設置補助金は、もう少し積極的でよかったのではないかと。環境啓発のために市民向けや商工関係者向けに講演会を開き、産業化への啓発があっても良いのではないかと。

太陽光発電について、売電価格が低下しており、補助件数が減少しているため、今回の予算になった。市として「いしかわ環境パートナーシップ県民会議」に加入しており、その講座の紹介をしながら啓発に努めている。



市



議員

災害要援護者名簿は町会が管理するのか。個人情報への漏えいが起きないように、ルールを作り、町会に指導をしてほしい。

民生委員の協力の下、名簿を作成している。町会とは協定を結び、市、町会、民生委員の三者が協力連携し、適正に管理していきたい。



市



議員

河内小学校の耐震化について、予算説明会の中でいろいろ議論があった。議会に説明し、了解を得た上で予算執行にあたりたいと解釈してよいのか。

いくつかの問題点について、しっかり説明した後、執行にあたりたい。



市



議員

地方における若年女性の人口減少が懸念される中、県外に進学した女性に対して、ハローワークや商工会議所に、就職に関する情報を提供するよう取り組んでほしい。

ハローワーク白山や産業界、経済団体などと雇用対策を協議する場で伝えていきたい。



市



議員

有害鳥獣の被害が市内で多数発生している。また県内でも大きな問題になる可能性がある。県に対して、早急な対応を要請する必要があるのではないかと。

シカについては県も非常に危機感を持っている。県に対して抜本的で迅速な対応策を検討するよう要請したい。



市



議員

環境の変化で、米の品質低下が起きている。JAと連携をしながら、土作りの支援や各地域の農業形態に応じた指導に取り組んでほしい。

引き続き、JA・石川農林総合事務所と連携しながら土づくりを推進していきたい。



市

国の
関係機関へ
提出

審議の結果、一般会計予算案は賛成多数で、その他の議案についても可決しました。

意見書

- 「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」構築への取り組みを求める意見書（提案者・清水芳文）
- ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書（提案者・宮中郁恵）

私は

賛成・反対しました

○＝賛成 ×＝反対		氏名	山口俊哉	安美隆直	吉本史宏	永井徹史	石地宜一	小川義昭	安田竹司	北嶋章光	宮中郁恵	村本一則	宮岸美苗	岡本克行	寺越和洋	吉田郁夫	竹田伸弘	清水芳文	前多喜良	藤田政樹	中西恵造
◎会派名 市民＝（新）市民の声 一創＝一創会 白政＝白政会 創誠＝創誠会		会派名	市民	白政	白政	白政	一創	白政	創誠	市民		白政		創誠	創誠	市民	市民		白政	一創	
平成27年度白山市一般会計予算			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度白山市介護保険特別会計予算			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度白山市下水道事業会計予算			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担に関する条例			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市教育長の勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市介護保険条例の一部を改正する条例			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市公共下水道条例等の一部を改正する条例			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
農協改革をはじめとした「農業改革」に関する請願書			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
集団的自衛権行使を容認する閣議決定撤回及び立法化中止を求める意見書採択を求める請願書			○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
「慰安婦」問題の早期解決を求める意見書」の採択を求める請願書			○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の採択を求める請願書			○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
「日米軍事協力の指針（ガイドライン）再改定作業の即時中止を求める意見書」の採択を求める請願書			○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×

*賛成反対が分かれたもの

*議長（西川寿夫）は採決に加わりません。

一般質問

市の事業などについて、議員が主張・提言・指摘を行います。
議員の質問時間は30分以内です。

3月会議の一般質問は、9日、10日の2日間にわたり行われました。

9日の質問議員

清水 芳文 議員	6ページ
吉本 史宏 議員	6ページ
安実 隆直 議員	7ページ
宮中 郁恵 議員	7ページ
竹田 伸弘 議員	7ページ
永井 徹史 議員	7ページ

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市ホームページで議会録画映像の配信や、「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になることができます。

10日の質問議員

小川 義昭 議員	8ページ
宮岸 美苗 議員	8ページ
山口 俊哉 議員	8ページ
中西 恵造 議員	8ページ



<http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/>



清水芳文 議員

Q 白山総合車両所への社会科見学を考えては

A 受け入れをお願いしていきたい

質問 新幹線車両所は、全国にも数カ所しかない施設であり、小・中学生の企業や工場見学としては最適な施設と考えるが。

答え 見学に当たっては、社会科における交通や運輸の学習、地域理解を深める地域学習など、児童・生徒にとっても興味や関心を持ち、感性を働かせながら豊かに学ぶ見学対象の一つであると捉え、実施に向けて協議を進めていきたい。

他の質問 地方創生戦略、プレミアム付き商品券、安定した雇用の創出など



吉本史宏 議員

Q 市政への市民参加について

A 市民主体の地域づくりのために支援

質問 市民主体の地域づくりのため、地域で活動する団体への補助金額を行政で決めるのではなく、市民が納税した税金のうちの一定額を活動資金として振り向け支援する1%支援制度、市民が選ぶ市民活動団体支援制度を導入しては。

答え 納税に対する意欲を高め、市民活動団体の活動を支援し、促進する1%支援制度は、市民との協働によるまちづくりを進めている本市にも参考になり、今後の課題として先進事例を参考に調査研究したい。

他の質問 市役所庁舎の懸垂幕等、観光地の整備



安実隆直 議員

Q 空き家を活用した地域福祉のまちづくり計画の策定を

A 次期の地域福祉計画に盛り込みたい

質問 本市福祉施策の特徴となる対策として、地域や集落の空き家を地域住民がお世話するグループホームなどの高齢者サービスや交流の場となるような地域コミュニティ施設として空き家の活用ができないか。

答え 公募した民間事業者において、空き家を活用した認知症対応型デイサービス施設を整備している。「空家等対策の推進に関する特別措置法」の趣旨を踏まえ、高齢者ふれあいサロンなど、空き家の一層の活用が図れるよう新たな計画に盛り込みたい。

他の質問 定住促進事業と空き家対策の制度拡充、まち・ひと・しごと創生総合戦略など



宮中郁恵 議員

Q 3人目以降3歳未満児の病児・病後児保育の無料化を

A 3人目以降のお子さん全てを対象に無料化を検討

質問 4月からくらやま保育園内に病児保育がスタートする。多子世帯の子育て支援と病児保育の利用支援として、3人目以降3歳未満児の病児・病後児保育の無料化を。

答え 常々子育てする保護者への支援を考えている。3歳未満児だけでなく、利用児童で3人目以降のお子さん全てを対象として無料化する方向で検討を指示した。なお、保育所等の保育料については、独自の措置を講じ、経済的負担の軽減に努めている。

他の質問 女性の企業合同説明会・起業セミナー、ボランティア大学校の開設など



竹田伸弘 議員

Q 津波対応に一貫性がない現状を検証して対応すべき

A しっかりとした形で今後は考えていく

質問 美川消防署は、屋上が地域住民の津波の避難場所として配慮されている。CCZの老人施設建設の選考の決め手は、2階が津波の避難所になっている。はまなす保育園建設時、屋上を津波の避難場所にとの要望でフラットにはなったが、屋上に登れない。避難場所として対応すべき。

答え 県は平成27年度末をめどに、新たな津波浸水想定案を策定する。想定結果の見直しを受け、地元の意向を踏まえ避難場所を含めた津波災害対策の見直しを行う。

他の質問 新幹線開業を見据えた観光戦略



永井徹史 議員

Q 公共財へのマネジメント手法の導入

A 新地方公会計制度の導入準備を進めたい

質問 単年度予算の発想ではなく、長期的なスパンで考えることで無理な修繕の抑制、経費総額の圧縮を図り、複式簿記・発生主義の考え方に基づき、充実可能な予算・財源を生み出す手法をどう捉えるか。

答え 財源確保策として斬新な方法と考えている。現在、国のほうで複式簿記の導入を前提とした新地方公会計制度の整備促進を図っている。市としてもこの制度について研修を行い、導入に向けた準備を進めたい。

他の質問 危機管理対応の改善策、防災無線の統一化、市民サービスセンターの今後など



小川義昭 議員

Q 千代女朝鮮通信使献上句碑を観光スポットに

A 句碑を分かりやすく表示し俳句館に観光案内機能を設置

質問 ①句碑に書かれてある千代女21句を現代平仮名文字に表示し、それぞれの解説を記した掲示板を句碑の付近に設置しては。②千代女とその句碑を白山市の観光スポットとして、さらに脚光を浴びるような手立てを。

答え ①21句は判読が困難であり、常用漢字と平仮名で記した掲示板を設置したい。解説の掲示板は句碑周辺に場所がないため、パンフレットなどを作成したい。②俳句館に観光案内機能を持たせ、全国俳句大会などを開催し、千代女のさらなるPRを図っていききたい。

他の質問 白山市公式アプリの作成、指定管理者制度の現状と課題など



宮岸美苗 議員

Q 高すぎる国保税の引き下げを

A 国保税引き上げの抑制に努めてきた

質問 国が市町村国保に保険者支援として1664億円を繰り入れるとしているが、その財源で本市の国保税の引き下げを。

答え 平成27年度から国保の財政基盤強化を目的に、約1700億円を国保財政に充てることが予定されている。本市には約1億1400万円が想定されるが、依然として医療費の増加で国保運営は厳しく税率の引き下げは困難。市民の健康増進、予防事業の推進で医療費の抑制を図りたい。

他の質問 人口減少時代の公共事業のあり方、地方創生とTPPなど



山口俊哉 議員

Q 医療的ケアの必要な子の就学援助制度について

A 健康福祉部の所管だが教育委員会と連携をとる

質問 医療的ケアの必要な子の地域の学校への就学に対する人的配置の予算が計上されているがその内容は。また、就学支援ならば教育委員会が所管では。

答え 週8時間を上限として、医療的ケアを必要とする児童に看護師等を派遣することで、保護者の負担を軽減する事業である。派遣先として、福祉サービス事業所等に委託したいと考えており、健康福祉部の所管としている。教育委員会と連携をとり、混乱が生じないように配慮したい。

他の質問 再生可能エネルギー、ボランティアセンター、子どもの権利条例など



中西恵造 議員

Q (仮称) 白山駅は県飛躍の原動力になり不退転の決意を

A 周辺全域に新駅効果を波及させるための調査費計上

質問 (株)ジャパンディスプレイの白山市進出と能美市、川北町工場を中心になるのが白山駅。また、石川ソフトリサーチパークでは企業や大学が連携し、革新材料の実用化に取り組む。良質で豊富な地下水や強固な地質、少ない災害リスクから企業誘致上も新駅実現の決意は。

答え 白山駅の整備効果を本市、能美市、野々市市、川北町全域に波及させるための二次交通網の基本計画を策定すべく費用を予算計上した。国の調査費も予算案に盛り込まれており実現に向け強く働きかけたい。

他の質問 松林の再生について、手取峡谷に桜並木をなど



意見交換会

産業建設常任委員会

中小企業の活力強化と地域活性化に向けて

白山市経済団体連絡協議会

(2月6日 14名参加)

白山市経済団体連絡協議会は白山商工会議所、美川商工会、鶴来商工会、白山商工会で組織され、産業振興の他、地域経済の発展向上に努めています。



主 な 内 容

地域経済成長を担う中小企業者への支援策の充実・強化

現在、市では対象業種を製造業に限定しているが、その業種制限の撤廃をしてほしいとの意見がありました。その他にも、制度融資に係る融資枠の拡充、企業・研究施設等の誘致の推進についての提案もありました。

地域の交通体系整備推進

北陸鉄道石川線の魅力向上、白山比咩神社周辺の整備、天狗橋から鶴来支所までの道路整備など魅力ある鶴来のまちづくり支援についての意見がありました。北陸新幹線（仮称）白山駅については、県・国・JR等関係機関への働きかけをより一層強化する中で、企業誘致についても、東日本大震災の教訓から、太平洋側から日本海側への企業の分散ということも積極的にPRすることが大切ではないかとの意見がありました。また、松任地域から美川・鶴来・白山ろく地域を結ぶ新交通システムを検討してほしいとの意見もありました。

まちづくり・地域活性化の推進

白山ろく地域の活性化のため、地域振興券といった施策など一層の支援が必要だという意見がありました。大型商業施設の進出により、松任地域の中心商店街の空洞化を懸念し、その対策を講じなければならないとの意見があり、委員からも買い物難民がふえる恐れがあり、行政側の支援や経済団体でシンポジウムを開催し、課題について協議すればどうかとの意見がありました。

ま と め

北陸新幹線金沢開業で地域経済、交通体系が大きく変化する中で、市の産業振興をこれまで以上に進展させていくためには、白山商工会議所、各商工会が緊密に連携して、魅力ある事業を推し進め、地域におけるリーダーシップを発揮していくとともに、行政も効果的なバックアップをする必要があると考えます。



議会傍聴を
お待ちしております

本会議当日
市役所7階で
受け付けていますので
お気軽にお越しください

5月28日（木）10:00～	提案説明
6月 4日（木）10:00～	一般質問
6月 5日（金）10:00～	一般質問
6月23日（火）15:00～	表 決

常任委員会レポート

総務企画 行財政改革から充実した行政経営に

主な質問

★第三次白山市行財政改革大綱

質問 第三次の大綱では、行政経営、戦略という言葉が使われているが、何か意図があるのか。

答え 第一次、第二次の大綱では、財政の改革、人的な削減など組織の縮小といった量的な改革を行ってきた。それらにほぼ目途がついたため、第三次の計画では、目線を改革よりも行政経営に改めており、戦略については、積極的に取り組んでいきたいという思いでそういった表現を取り入れた。

★白山市辺地にかかる総合整備計画の変更

質問 現在の市辺地に係る総合整備計画の期間は平成27年度までだが、今後の予定は。

答え 有利な起債である辺地債については、引き続き有効に活用したいため、次期の計画として、5年間の事業計画を予定しており、平成27年度策定に入りたい。

文教福祉 保育要件の緩和により子育て支援の充実を図る

主な質問

★白山市保育所条例の一部を改正する条例

質問 具体的な改正内容は。

答え 今までの保育要件は、保育に欠けるお子さん、家庭保育ができないお子さんということであったが、今回の改正により、保護者の働き方によって家庭で保育ができない、保育が必要となるお子さんが対象となる。保護者の働き方によって預かる時間や料金が改正になり、必要な時間を預かるということで保護者にとっては預けやすくなる。



待望の新園舎（認定こども園みかわこども園）

産業建設 市内居住を希望する従業員には配慮を

主な質問

★企業進出

質問 先日、スマートフォンのディスプレイなどを製造する（株）ジャパンディスプレイが市内に県内最大規模の工場を新設するとの報道があった。全国から多くの従業員が来ることが見込まれるので、市内に居住を希望される方には配慮を。

答え これまでも議会から人口対策や地域活動への参加の質問などもあり、このことは重要なことだと考えている。従業員の市内居住については、（株）ジャパンディスプレイ側と協議をする中で要請していきたい。



県内最大規模の工場新設が決定したキリンビール工場跡地

★スキー場施設の指定管理者の指定

質問 指定管理者の指定期間を延長することはやぶさかではないが、将来的には地元で運営する話があったのでは。

答え 最終的には地元での自立を目標にしていたが、まだ施設整備や索道、その他設備にかなりの費用がかかる状況のため、中期的な視野にたった経営戦略を立てて、少しずつでもシフトできないか考えていきたい。

特別委員会より

観光交通対策特別委員会（委員長 中西恵造）

主な
報告内容



観光対策

ポスターやパンフレットなどのPRツールを充実させ、インターネットを活用した情報発信を強化すること。

白峰重要伝統的建造物群保存地区のまちなみ整備にも力点を置き、世界ジオパーク認定に向けた白山手取川ジオパークの施策と連動する中で、誘客の仕掛けを積極的に検討すること。

誘客施策

地元でのおもてなしの醸成を育み、市内各地へ行けるさまざまな商品の開発にも取り組むこと。

市内外での観光案内に力点を置き、目的地へのアクセスの説明など親切丁寧な対応ができる体制とあわせて目的地への二次交通を充実するとともに、観光客を受け入れる宿泊施設などでのおもてなしの環境も整備すること。

交通（誘客）対策

コミュニティバス「めぐーる」の効果的な運行を図り、鉄道との接続時間や停留所の調整、土日の運行、近隣市町への乗り入れ等の運行形態も検討すること。

北陸新幹線（仮称）白山駅

国やJR西日本、鉄道・運輸機構へ建設に向けた働きかけや活動を推進するとともに、（仮称）白山駅周辺の具体的なまちづくり施策を検討すること。

全体を通して

民間団体と一体となり、観光の先進地を手本にしながら、効果的な誘客施策を検討し、地域の魅力づくりにも積極的に取り組むべき。近隣市町との広域連携も強化し、県や関係機関との連携のもと、全庁一丸となりオール白山で取り組むこと。



白峰重要伝統的建造物群保存地区

定住空き家対策特別委員会（委員長 吉田郁夫）

主な
報告内容



企業誘致

経済的に安定することは、少子化解消への可能性も含んでいることから、定住化を進める上で、より積極的な企業誘致に取り組むこと。

仕事をしながら安心して出産、子育てができるよう、並行して子育て環境の充実に努めること。

白山ろく地域での取り組み

白山ろく地域からの転出を防ぐための対策が急務であり、白山ろく地域における企業誘致等に関しても平野部と同じ条件に当てはまらないとの認識の下、優遇措置等、抜本的な見直しを行い、総合計画に盛り込むなど対策を講じること。

空き家バンク

事業内容の周知を徹底し、登録件数の増加に努めるとともに、先進地の事例を参考に柔軟な対応をすること。

市内全域を対象に幅広く登録できるよう検討すること。

第三者に危険を及ぼす恐れのある空き家の対策

国、県の動向を注視し、第三者に被害や迷惑が掛かる前に、強制力のある条例を早急に作成すること。

町会と一体となり、空き家対策計画の策定や協議会の設置等、多角的な視点から対策を講じること。

全体を通して

平成27年度に策定される総合戦略に向け、さらなる事業の洗い出しと改善に努めるとともに、住んでみたい、住んでよかったと思われる白山市づくりに、今後も全庁一丸となり、人口減少に歯止めをかける施策を横断的に取り組むことが重要。



山島工業団地

貴重なご意見をいただき ありがとうございます

市民の皆さんのご意見を参考に、よりよい内容にするため、議会だより第39号でアンケートを実施し、33人の方からご回答をいただきました。

この度、アンケート集計結果をまとめましたので、その概要をお知らせします。お寄せいただいた貴重なご意見は、今後の議会だよりの作成や議会運営に生かしていきます。

【実施期間】 平成27年2月12日～3月12日

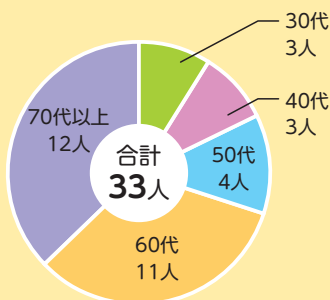
【応事件数】 33件

(はがき19件、FAX8件、Eメール5件、持参1件)

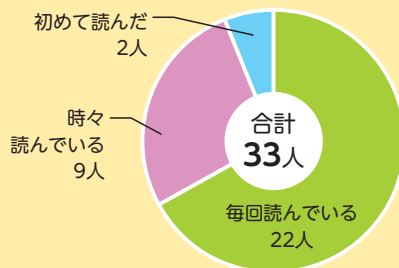
【性別】 男性22人 (67%)

女性11人 (33%)

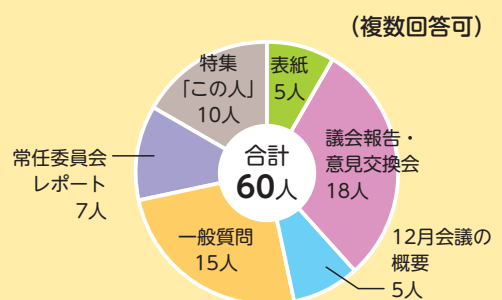
年代



議会だよりを読んでいますか



どのページがよかったですか



主なご意見・ご要望

今回の12月会議の概要ページがいつもより見やすく、分かりやすい構成になっています。個人的には黒い文字が多い方が内容が伝わりやすい。

市政、市議会に対する要望、施策の提言、暮らしに苦情などの意見を聞くページが必要では。双方向で意見を交換し、前向きな対応策を導く努力を望みます。

各議員の一般質問の記事はメインになるものなので、従来通りの充実した内容にしてほしい。委員会報告をもう少し厚くしてもいいと思う。特集「この人」は一般広報紙に載せるのならばともかく、議会だよりには不要では。

①白山市は金沢市に次ぐ石川県第2の都市で広域であり、合併も経ているので公平性のある施策が市政には求められているので、一般質問に期待している。
②特集「この人」は、非常に格調高い内容であり、別冊にして今後の利用価値があるように思う。

常任委員会レポートは分かりやすく、各分野のことも知ることができてよかった。

今回号(第39号)は「市民の声に答える」が載っており、再認識できた。

最近読みやすくなったと思う。質問者がいつも同じように思うが、他の人は何をしているのが気に入ります。

議員のプロフィールの紹介があればよい。

もう少しイラストや挿し絵を入れてカラフルな楽しい紙面にしてほしい。

①表紙は「顔」です。もっと吟味してほしい。今回号(第39号)は全くダメです。
②特集「この人」は議会が取り上げる話題とは思えないので再検討を。例えば、視察先の先進地の取り組みなどを紹介しては。
③「市民の声」を傍聴者に限定するよう話題が固定されると思う。

市民からの投稿提案等についても必要最小限度載せてほしい。一個人への回答だけではなく、全市民には分からないこともある。できるだけ全市民に分かるようにしてほしい。

広報広聴委員会

委員長：寺越 和洋 副委員長：宮岸 美苗
委員：山口 俊哉、安実 隆直、吉本 史宏、北嶋 章光

針金や糊、熱も使わない製本技術「エコプレスバインディング」を採用しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

